

くらしの中の 化学物質 と 環境リスク

身の回りにはどんな化学物質があるの？

化学物質は私たちの生活を豊かにし、快適な生活のために欠かせないものとなっています。私たちは、日常の生活や事業活動において様々な化学物質を利用し、大気や水、土壌を通して環境中に排出しています。

身の回りの化学物質の環境リスクを正しく理解することが大切です。

食品類

- ・安息香酸、ソルビン酸など（保存料）
- ・食用赤色2号など（合成着色料）



塗料や接着剤

- ・トルエン、キシレン、ホルムアルデヒドなど
- ・酢酸ビニルなど（接着剤）



衣料品

- ・ナイロン、ポリエステルなど（化学繊維）
- ・テトラクロロエチレンなど（ドライクリーニング）



洗剤や化粧品

- ・ヘキサクロロフェン、トリクロサン、パラベンなど（殺菌剤、防腐剤）
- ・直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩など（界面活性剤）



農薬・殺虫剤・肥料

- ・パラジクロロベンゼン、フェントロチオンなど



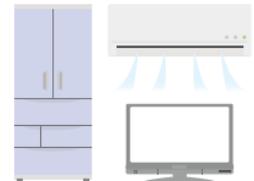
医薬品

- ・アセトアミノフェン、イブプロフェン、テトラサイクリンなど



家電製品

- ・ポリ臭化ジフェニルエーテル（PBDE）など（難燃剤）
- ・アルミニウム、鉄など（金属類）



自動車

- ・ベンゼン、トルエンなど（ガソリン）



（引用）環境省 PRTRデータを読み解くための市民ガイドブック令和元年度集計結果から

環境リスクってなに？

化学物質は、環境を経由して人の健康や生物の生態系に悪影響を与える可能性があります。これを環境リスクといいます。リスクの程度は、化学物質の種類ごとの有害性の強さと、体に取り込む量の関係で決まります。有害性が強い物質でも、環境中の濃度が十分に低かったり、体に取り込む量が微量であれば、リスクは小さいと言えます。

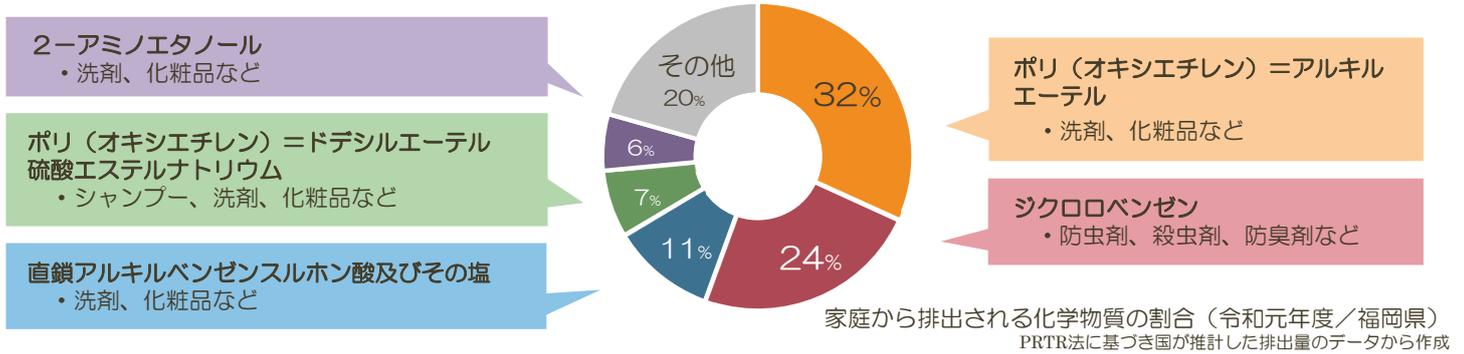
環境リスクの程度 = 有害性の強さ × 体に取り込む量（ばく露量）

環境リスクに応じて環境基準が定められた化学物質については、自治体が環境中の濃度をモニタリングし、基準に適合しているかを確認しています。



家庭からはどんな化学物質が排出されるの？

下のグラフは、家庭から排出される化学物質のうち特に排出量が多いものの割合を示しています。家庭から排出される化学物質の多くは、洗剤、化粧品、防虫剤、シャンプーなど、日常的に使用する消耗品に含まれている化学物質であることがわかります。



環境リスクを減らそう！

わたしたち一人一人が、日常の暮らしの中で、化学物質による環境リスクを減らすための次の行動を心掛けることで、生物の生態系や環境を守ることにつながります。



SDGs 目標12

持続可能な生産消費形態を確保する

ターゲット12.4

2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

1. 必要なものを必要な量だけ買う

まずは、毎日の暮らしの中で不要な化学物質の使用や排出を減らしましょう

2. 使用方法・廃棄方法を守る

不注意に環境中に排出されることがないように使用方法や廃棄方法を守りましょう

3. 環境負荷が少ない製品を選ぶ

消費者が環境負荷の少ない製品を選ぶことは、事業者を環境に配慮する方向へ変えることにもつながります



（引用）環境省 PRTRデータを読み解くための市民ガイドブック令和元年度集計結果から

化学物質についてもっと知りたいときは

環境省 かんたん化学物質ガイド <http://www.env.go.jp/chemi/communication/guide/index.html>

環境省 化学物質情報検索支援システム ケミココ <http://www.chemicoco.env.go.jp>

環境省 化学物質ファクトシート <http://www.env.go.jp/chemi/communication/factsheet.html>

お問い合わせ先

福岡市環境局環境保全課
福岡市中央区天神1-8-1

Tel 092-733-5386 / Fax 092-733-5592

Email k-hozen.EB@city.fukuoka.lg.jp

福岡市内の化学物質の
排出量を知りたいときは→

福岡市 PRTR

